

質問回答書

令和7年10月2日

入札参加業者各位

公立大学法人横浜市立大学

件 名 : 本校舎西棟2階空調設備更新工事

上記件名に係る契約について、次のとおり質問がありましたので、回答します。

担当 公立大学法人横浜市立大学

総務課施設担当

電話 787-2015

メール h_sisetu@yokohama-cu.ac.jp

質問	回答
<質問1> 図面及び設計書にアスベストに関する記載がありませんが、建材等に含有はないものと考えてよろしいでしょうか。もし含有があった場合、調査費及び工事費、処分費共に別途と考えてよろしいでしょうか。	<回答1> 建材等にアスベストの含有はありません。含有があった場合は別途協議し、設計変更の対象とします。
<質問2> 設計書に基礎補修の項目がありますが、詳細が不明です。既存コンクリート基礎はベタ基礎で、既設アンカー後の補修程度と考えてよろしいでしょうか。	<回答2> 既存コンクリート基礎はベタ基礎で、既設アンカー後の補修を想定しており、コンクリート敷均し8.9m²を計上しています。
<質問3> 新設室外機の設置について、室外機廻りにドレン管がありませんが、室外機は、コンクリートのベタ基礎に直接設置とし、室外機ドレンは垂れ流しでよろしいでしょうか。	<回答3> 新設室外機から排出される水は想定していないため、ドレン管は計上していません。室外機は、コンクリートのベタ基礎に直接設置とします。

<質問 4> 図M-01 工事概要に、ダイキン工業製マスターステーションⅢに接続となっておりますが、R32冷媒機種は、通信方式が異なるため、既設接続には別途対応が必要となると考えられます。現状同費用共に不明なため、接続可能と仮定した積算とし、現場調整と考えてよろしいでしょうか。	<回答 4> 既存マスターステーションⅢに接続可能と考えて積算してください。新設機種の種類により接続できない場合は別途協議し、設計変更の対象とします。
<質問 5> 設計書P. 3に、「中央監視設備調整費 計装メーカーによる対向試験等」とありますが、既設の計装メーカー（連絡先等）をご教授ください。	<回答 5> 既設の計装メーカーは富士通Japan株式会社です。金沢区エリアの担当者をお尋ねください。
<質問 6> 図面M-07の「屋外機置場平面詳細図（改修前）」にて、給水管が屋外機と氷蓄熱ユニットの2か所に接続されていますが、屋外機に給水管接続口はないと思われます。また、屋外機に給水管が接続されていない場合、図面では撤去・プラグ止めとなっていますが、撤去すると本来給水管が接続されている箇所に影響が出てしまうと思われます。どのように考えればよいでしょうか、ご指示願います。	<回答 6> 既存屋外機には、真夏の暑さのピーク時に水をかけて冷却するための給水管が接続されています。こちらは撤去・プラグ止めをしても他の系統に影響はありません。
<質問 7> 図面M-07の「屋外機置場平面詳細図（改修前）」にて、氷蓄熱ユニットに給水管が2本接続されていますが、G20を通して接続している配管はドレン配管だと思われます。また、オーバーフロー配管が図面に記載はありません。ドレン配管のみ撤去として計上し、オーバーフロー配管の撤去は見積除外と考えてよろしいでしょうか。	<回答 7> 図面M-07の「屋外機置場平面詳細図（改修前）」にて、氷蓄熱ユニットにG20を通して接続している配管はドレン配管です。また、オーバーフロー配管はすでに撤去済みのため見積り対象外とし、ドレン配管の撤去のみ積算してください。
<質問 8> 図面M-10で「メッシュフェンスW=2.0m（支柱残置）取外し再取付」は全部で12スパンありますが、設計書P. 13では「既存フェンス・片開き扉取外し再取付 W2.0×H1.8m×8か所」と異なります。どちらが正しいのでしょうか、ご指示願います。	<回答 8> 図面M-10の「メッシュフェンスW=2.0m（支柱残置）取外し再取付」の全12スパンで計上しているため、設計書P. 13の「既存フェンス・片開き扉取外し再取付」の摘要欄の記載は「W2.0×H1.8m×8か所を12か所」と読み替えて積算してください。

以上